

連絡協力促進事業

「外国青年のボランティア実践研修」

事業の概要

事業のねらい 我が国青少年の国際的視野の育成と東南アジア諸国青少年の対日理解促進のため、両国青少年の交流の機会を提供する。

期 日 平成22年 8月11日(水)～ 8月15日(日)

会 場 国立那須甲子青少年自然の家

対 象 者 日本で学ぶ外国人青年

参加者数 ASJA International (アスジャインターナショナル) 研修生12名(1団体)
(参加募集人数)

目 程

月 日	7:00 8:00 9:00 10:00 11:0012:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:0021:0022:00																			
1日目 8月11日 (水)					入 所	瓶 捌	オ レ ン ジ ー シ ョ ン	昼 食	団体交流 (高校生とボランティア活動)				物 置	つ ど い	野炊 点検	夕 食	入 浴	フ リ ー	振 返 り	就 寝
2日目 8月12日 (木)	つ ど い	朝 食	職員紹介 点検作業	所 長 講 話		施設案 内		昼 食	学校視察 (西郷二中, 川谷小・中学校)				情報 交換	つ ど い	野炊 点検	夕 食	入 浴	フ リ ー	振 返 り	就 寝
3日目 8月13日 (金)	つ ど い	朝 食	点検作業	二の沢ハイキング(昼食 おにぎり弁当) 足立14団カブスカウトに同行 雨天時 8月14日と交換					施設整備		情報 交換	つ ど い	野炊 点検	夕 食	入 浴	フ リ ー	振 返 り	就 寝		
4日目 8月14日 (土)	つ ど い	朝 食	点検作業	白河だるま製作			昼 食	施設整備作業				情報 交換	つ ど い	夕 食	キャンプファイヤー 足立14団カブスカウトに同行		入 浴	振 返 り	就 寝	
5日目 8月15日 (日)	つ ど い	朝 食	点検作業	振返り 荷物整理			昼 食	退 所												

プログラム紹介



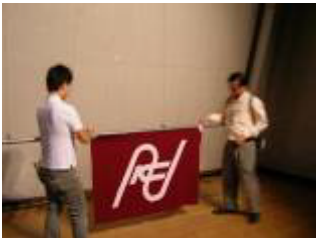
- ①【高校生と交流ボランティア活動】
青少年との交流と施設整備を兼ねて、福島県内の高校生のボランティア活動に同行した。オリエンテーリングのコース整備ということで、枝打ちや草刈の作業をした。



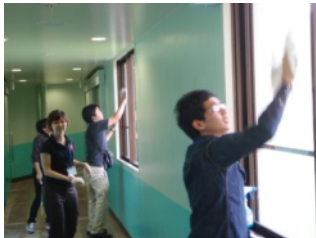
- ②【日本の小中学校視察】
日本の青少年教育の現場を知るという目的で、西郷村内の小・中学校を視察した。日本の学校教育の現状と研修生それぞれの母国の学校教育との違いを実感した。



- ③【活動エリアの点検】
ハイキングコースの点検と日本の青少年団体との交流を目的にボーイスカウト足立第14団と二の沢ハイキングを実施した。子どもたちの安全確保も兼ねて実施した。



- ④【業務補助】（朝・夕のつどい）
自然の家の業務補助を目的として、朝のつどいと夕のつどいで旗の上げ下ろしやアクティビティを担当した。母国の紹介やあいさつの仕方の違い等を発表した。



- ⑤【施設整備】
業務補助として施設整備（窓拭き）をした。窓拭きをしながら職員との交流をしたり、青少年の団体とあいさつを交わしたり、会話をしたりして、団体との交流もした。



- ⑥【団体支援活動】（キャンプファイヤー）
利用団体の支援活動という目的で、研修最終夜に、ハイキングで同行したボーイスカウト足立第14団のキャンプファイヤーに参加した。プレゼントの交換等で交流を深めた。

- 企画・運営のポイント
- ①日本文化に触れたり、日本の青少年教育について理解を深めたりすることを目的としてプログラムを編成した。
 - ②研修生の出身国の宗教や風習等を考慮してプログラムを編成した。
 - ③利用団体のプログラムに研修生が参加するという活動においては、団体との連絡を密にし、団体の活動に成果が現れるように配慮した。

事業を終えて （成果と課題）

- ①高校生やボーイスカウト等の団体との交流により、日本の青少年の実態について理解を深めることができた。
- ②学校視察において、校長先生や教頭先生に細かく説明を受け、日本の学校教育の現状についての理解を深めることができた。
- ③研修生の実態によるが、自然体験を主としたプログラムを希望する研修生が多かったため、今後に取り入れる。

今後の方向性

- ①今年度は、学校視察として中学校と小学校を視察したが、地元には高等学校や養護学校などもあるので、来年度以降の視察学校として視野に入れて行きたい。
- ②研修生のニーズも多様化しているので、事前のアンケート等を実施して有意義な研修とする。

「教育施設視察」

プログラムのねらい 日本教育施設を視察することにより、日本の教育の現状や地方の学校教育の現状について理解を深める。

展開例

1 中規模学校の視察：福島県西白河郡西郷村立西郷第二中学校

【ねらい】 中規模の中学校を視察することで、学校施設や設備の特徴、中規模学校の特色などについて理解を深める。

【プログラムの流れ】

- ① 学校の沿革等について説明を受ける。
- ② 学校施設内を見学する。
- ③ 学校職員との意見交換をする。



- ① 学校の沿革等について説明を受ける。
学校の沿革に始まり、現在の教育現場の課題や自校の生徒の様子などについて説明を受けた。



- ② 学校施設内を見学する。
生徒の教室や実習室・図書室などの特別教室の見学をした。実習室では、生徒の作品などを見ることができた。



- ③ 学校職員との意見交換をする。
英語教育や研修生の母国との教育環境の違いなどについて意見交換をした。



- 学校のプール設備に驚く研修生たち。

2 小規模学校の視察 : 福島県西白河郡西郷村立川谷中学校・川谷小学校

【ねらい】 小規模な学校の中でも、小・中学校が接続している特殊な造りの学校を視察することで、学校施設や設備の特徴、小規模学校の特色などについて理解を深める。

【プログラムの流れ】

- ① 学校の沿革等について説明を受ける。
- ② 学校施設内を見学する。
- ③ 学校職員との意見交換をする。



- ① 学校の沿革等について説明を受ける。
学校の沿革に始まり、校舎の造りや小規模学校の複式指導、子どもたちの様子などについて説明を受けた。



- ② 学校施設内を見学する。
複式指導の際の教室の使い方や小規模学校の特別教室の造りなどを見学した。



- ③ 学校職員との意見交換をする。
小規模学校の課題や研修生の母国との教育環境の違いなどについて意見交換をした。



○視察の最後に、川谷中学校の校長先生が、お土産として折り紙の箱の作り方を指導した。

プログラム効果 日本 の 青少年 について の 理解 を 深める ための ひとつ の 手立て として、学校 教育 の 現場 を 見る ことは、外国 の 青年 にとっては 大変 興味 の ある プログラム と なった。今回は、各 学校 の 校長 先生 や 教頭 先生 から 親切 な 説明 ・ 施設 案内 を 受けた こと により、研修 生 は 大変 理解 が 深まった。また、施設 内 の 教具 や 教材 について 実演 を 交えた 説明 を 受けた り、実際に 使った り できた こと で 研修 生 の 母国 の 教育 環境 と の 違い 等 について も 意識 し やすい 視察 と なった。